

第一回 国会 宗議 動委員会 議録 第十号

昭和二十二年九月十九日(金曜日)

午後二時一分開議

出席委員

委員長 加藤 勘十君

理事社井民之助君 鈴木川崎 秀一君
理事補 直治君 鈴木原 馨君
理事相馬 助治君

荒畠 勝三君 菊川 忠雄君
前田 種男君 山花 伸一君
小川 半次君 小林 達美君
寺本 齋君 橋本 春江君
松本 一郎君 山下 勇君
倉石 忠雄君 村上 金昇君
吉川 久衛君 河野 伸一君

綱島 正興君

出席國務大臣

内閣總理大臣 片山 顯君

労働大臣 米塙 满亮君

國務大臣 和田 博雄君

出席政府委員

労働事務官 上山 顯君

内閣調査員 大橋 静市君

専門調査員 濱口金一郎君

委員外の出席者

失業手當法案(内閣提出)(第三六號)

失業保険法案(内閣提出)(第五三號)

○加藤委員長 これより會議を開きま

す。この委員會に付託されております職業安定法案を議題として討論に付します。社井民之助君。

○社井委員 本案に對し各派より、次

のことく一部を修正し、なお附帶條件を付して賛成したいと存じます。修正の條項を読み上げます。二箇所修正したいと思います。

第一箇所は第二十條(イ)本條文中

「業務の部門」とあるを單に「業務」と改

正する。(ロ)本條文第二項を削除す

る。

修正の第二項、第三十三條第二項の

あとに「但し、労働組合法による勞働組合に對し許可をなす場合は、この

限りでない。」と附加すること、以上

のごとく修正したいと思います。

次に附帶條件

一、労働力の需要供給の調整等、労

働計畫の立案にあたりては、労働省を

中心として各産業廳との連絡を密にし

総合計畫を樹立すること。

二、職業に關する行政の特殊性に鑑

み、職業關係行政官の任用その他の人

事に關しては、官吏制度におけるがこ

とき資格、経験等にとらわれることな

く、客觀的に考慮の上、人材の登用を

なすべきこと。

三、職業安定委員會の機構並びに運

用について、單なる形式に終らざる

よう考慮を拂い、民主的なる實際活用

に努めること。

四、都道府縣事に對する監督にあ

たりては、地方自治法との調整に眞重

なる態度をとり、まさつしないよう特

に考慮を拂うこと。以上であります。

○加藤委員長 これより會議を開きま

す。つまましては、既に數回の委員會にお

いて論じ盡されておりますので、その

理由は省略いたします。以上の修正並びに附帶條件を付しまして原案に賛成いたしたいと思います。

○加藤委員長 ただいまの社井君の修

正並びに附帶條件の問題につきまして

討論の通告はございません。討論を省略いたしまして、ただちに採決にはい

りたいと存じます。御異議ございませんか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○加藤委員長 御異議ございませんけ

れば、ただいまの各派一致の提出にか

かる修正案に賛成の方の御起立を願い

ます。

〔續貢起立〕

○加藤委員長 起立總員よつて本修正

案は決定いたしました。

次に、本案の修正部分を除いた部分

を原案の通り可決するに御異議ござ

いませんか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○加藤委員長 御異議なしと認めま

案は決定いたしました。

次に、本案の修正部分を除いた部分

を原案の通り可決するに御異議ござ

いませんか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○加藤委員長 起立總員よつて本附

帯決議は決定いたしました。

○加藤委員長 これより會議を開きま

す。つまましては、既に數回の委員會にお

いて論じ盡されておりますので、その

○加藤委員長 御異議なしと認めます。よつてさように決定いたしました。

○片山國務大臣 御承知のように、戰

争のためにわが國は非常な損害を受け

まして、經濟の上において、產業の上

において、社會生活の面におきまして

非常に打撃が、今現實として現われて

おると思うのであります。すべての復

興はまずこの荒廢せる焦土を整理し

て、それからその土に建てなければな

らないと思つておるのであります。先

と存します。質問者が多數ございます

が、總理に對しての質問の通告順

は、今日は倉石忠雄君の順序になつて

おりますから、倉石君から御質疑をし

ていただきことにいたします。倉石忠

君。

〔委員長退席、社井委員長代理著

席〕

○倉石委員 過日の本委員會におい

て、同僚川崎君の御質問に對して答え

られ、片山總理大臣は、失業問題に對

する政府の考え方は、つまり國民生活

の安定を考え、職業安定をなすに

て、同僚川崎君の御質問に對して答え

られ、片山總理大臣は、失業問題に對

する政府の考え方は、つまり國民生活

の安定を考え、職業安定をなすに

て、同僚川崎君の御質問に對して答え

られ、片山總理大臣は、失業問題に對

する政府の考え方は、つまり國民生活

の安定を考え、職業安定をなすに

争のためにわが國は非常な損害を受け

まして、經濟の上において、產業の上

において、社會生活の面におきまして

非常に打撃が、今現實として現われて

おると思うのであります。すべての復

興はまずこの荒廢せる焦土を整理し

て、それからその土に建てなければな

らないと思つておるのであります。先

と存します。質問者が多數ございます

が、總理に對しての質問の通告順

は、今日は倉石忠雄君の順序になつて

おりますから、倉石君から御質疑をし

ていただきことにいたします。倉石忠

君。

〔續貢起立〕

○加藤委員長 起立總員よつて本附

帯決議は決定いたしました。

○加藤委員長 これより會議を開きま

す。つまましては、既に數回の委員會にお

いて論じ盡されておりますので、その

○片山國務大臣 御承知のように、戰

争のためにわが國は非常な損害を受け

まして、經濟の上において、產業の上

において、社會生活の面におきまして

非常に打撃が、今現實として現われて

おると思うのであります。すべての復

興はまずこの荒廢せる焦土を整理し

て、それからその土に建てなければな

らないと思つておるのであります。先

と存します。質問者が多數ございます

が、總理に對しての質問の通告順

(三七五)

83

第一類第八号

労働委員会議録 第十四号

昭和二十二年九月十九日

は、一に戦争の被害、戦争の打撃が、今現實となつて現われて、それが經濟を、産業を、社會狀態を混亂の状態に陥れつゝあるものであるということを考え、これを整理し、それを再建し、産業の興隆をはがつていくといふところに重點をおいて、失業者を多く出さないようにして、いかなければならぬ。こういうような方向に向つて進んで行こうと思つてゐる次第であります。

○倉石委員 了承いたしました。そこで最近いわゆる民間貿易が再開されまして、外國の商人とわれくとが、種種な點について話合つてみた結果は、政府當局も御承知のように、日本の輸出貿易の花形であるとわれくどもが考へておりました難題ですら、對米爲替レート二百ないし三百でなければ引合わないというふうなことが現われてきた。われくがこういうことを考えて見ましたときに、日本の産業といふものの前途に、相當な心配の種をもたせられたのであります。八月一日の本委員會において、吉川君の御質問に對して来塙國務大臣は、日本の經濟面における生産集中、労賃がその約五十%を占めておると、いうことを説明されております。われくはこういう状態であつたならば、この労賃の點からだけ考えても、外國と太刀打ちをして貿易をするその製品をつくるなんといふことは、非常な困難であるといふことがわかるのであります。労賃が高いままようけれども、その主たる原因としましては、私は生活費の昂騰だと思いました。農民の方に言わして見ましたならば、つくるところの物はことごとく

公で供出させられ、そうしてそので
きた品物の多くは統制であります。そ
うしてこの農業經營をする場合に使う
ところの品物はどうかと言えば、マル
公じやはいってこない。御承知のよう
に地下たび一足買つても三百圓もする
といふようなもの買つて、米や野菜
をつくつておつたのでは、農民がマル
公で物を出して、引合はずはないの
であります。しかしながら今度は、そ
ういうものを買つてつくつておる農民
の品物も、まわりまわつてやみで流れ
る。そいつを消費する、いわゆるやみ
生活をしておる労務階級というのも
また、やりきれない。こういうのが今
日の實情なのであります。そこで私
が政府にお尋ねをいたしたいのは、ま
ず問題になつております千八百圓の
ペースということになりますが、この
千八百圓のペースについて和田安本長
官は、「二千圓くらいでもいいではない
か」というようなことを言つておつた
のであります。また米露國務大臣が名
古屋の演説會において、企業家の方で
支拂い得る能力があるならば、二千四
百圓でもいいぢやないかといふような
ことを言つておられる。つまり千八百
圓ペースというものを、今日のよ
うな、日々に物價の高騰していく現状に
おいて、これを維持することができる
か、いつまでこれを保つていくことが
できるかどうかということに對して、
政府の所見を伺いたいのであります。

ます現在の状態を基本として考えていい
かなければならぬと思つてゐるのです
あります。御承知のように労働の力、
結果との間の釣合いもうまくいつてお
りませんで、今まで一人でかかるて仕上
げたものも、今日は三人ばかりでやら
なくてはならないというよくな状態で
あります。三人ばかりでやりまし
た仕事の總體の成績も今までのよう
にあがつてない。それが半分となる、
三分の一となるといふような状態であ
りますから、よほどその間の調節を
はかつていかなければならぬと思つ
ております。そこで政府として考え
ましたることは、労資と物價の關係を
現在の産業の状態、經濟力とにらみ合
わして十分調整し、その均衡をはかつ
ていかなければならぬと思つてゐる
のであります。賃金を千八百圓のペー
スとする。物價はそれ以上上つてゐる
が、なぜそこに不釣合いな状態ができる
たかと申しますと、それがわが國
の經濟の病根であったと思うのであり
ます。それが釣合つてしまひりますれ
ば、經濟は平均の状態に進み、釣合い
がとれてくるのであります。釣合いが
とれるわが國のこの經濟の非常な波
弊せる、まさに破綻に進まんとするよ
うな状態を考えて、そしてその釣合い
を考慮していかなければならぬ、か
ようにも考えるのであります。そこでこ
の千八百圓の、これはベースであります
から、その基準というものを守つ
ていいことには、このわが國の經
濟の病状のままでは、また物價は上づ
てくるといふような不均衡状態のまま
でまた進んで行く、こういうよくな状態

ります。それではありますから、物價の上りを止めようとするならば、この病状がまさに深刻であります。それを上げるとまた物價が上つてくる、そこに不均衡を來すが病状があると、こう私は思つてゐる所以あります。そういう意味から申しまして、これを一般にも十分に考慮願いまして、そしてこの千八百圓の基準をきめましたことは、今これを政府みずからが破る所取り除いて、その平衡を十分に保持するように進んでいかしめる、そしてこの危機を乗り切つて初めて平常なる状態に進んでいく。先のことはその後において健全なる状態になりましたときに、初めて考慮るべき問題ですが、現在においては今申しましたよな状態で、千八百圓のベースはどうても守つていかなければならぬとつてゐるのであります。これはくだけではありますので、その産業目において採算がとれ、また賃金を千百圓より以上に建てることもまた適なりと考へる産業においては、各般の状況を考慮されまして、賃金を考慮することは差えはなかろうと思つてゐるのであります。そういう意味から、米穀勞働大臣が、お示しのような話されたのではなかろうかと思ひますが、それは本人にひとつ聞いてみたいと存じます。

圓と言いましたか、数字ははつきりした點は記憶しておりませんが、いわゆる千八百圓に健オーバーする賃金をもらうこともあり得るということは、給與審議會で「應全國の重要な業種別三十五に對しまして平均をとつたところが、千八百圓ベースというものが出てくる、その三十五の業種別の中には一千四百圓といらるものもあれば、二千三百圓あるいは二千四百圓といらるものもある。私はその意味におきまして、たとえば機器などいうものについていは、二千三百何十圓という平均賃金が給與審議會で政府側から示してある、その意味のことと申し上げたので、二千三百圓をもつて物價改訂のための標準賃金でよい、こういう意味で申したわけではないのです。

のことを話をされたという。それに對して、また一方國務省筋としては、ストライクの意見は個人的意見であるといふふうに、これを否定されておる。われわれはいすれにいたしましても、賠償工場に指定されている、その工場を賠償工場に指定され、そうしてその工場を皆もつていつてしまふかといふと、そういう持つている者の方から申しますと、賠償工場に指定され、そうしてその工場を皆もつていつてしまふかといふと、そうではないのです。工場全体を取はずすことなどはどういふ可能の部分が非常に多いのでありますから、しかもそれらは現在許されて、周囲たくさんある、現に化學工業のごときは、取りはずすことなどはとうてい不可能な日からでも操業がされるというのもたくさんあります。たとえば苛性ソーダの電解装置二十四萬トンの設備をもつておるもののが、今八萬二千トンしか稼働しないということを指定されております。ところが今その八萬二千トンばかりの會社、どの工場等は操業を許されておるという的確な内容のお示しがないものでありますから、この化學工業業者といふものは、手をあげて決定待つておるというのが現状であります。しかもこういうような經營面から言えど、ボロ會社に屬する會社に對して、吉田内閣以來運轉資金というものが遠慮なく貸しておつた。私は石橋藏大臣に、ああいうことが日本のイギリスの大きな原因であるから、早くやめなければいけないといふことをしばく申し上げたのであります。が、こういうことが未だに行われおる。從つてそういう會社はどうす

かといえば、そこで概要に言えばやみの品物をつくつて、たとえば彼らのもつている技術をもつてサッカリンをつくるとかいうようなことをして、これを今度はほかの方法でやみ流しをして、とにかくそれで生きていられるのあります。こういうような会社であります。こういうようなことを決して、そういうのを、はつきりきめていた内容を決定して、これを取立てられ、そこしてその残りの日本の産業水準といものを、はつきりきめていたままにしたならば、日本の産業といふものは、それを元手にして再編成の計畫ができるのであります。しかるにこの赔償が、きまるがことくまざらがごとき態度をとられておる。日本の産業はとうていこれでは回復してこないものであります。この赔償の決定と、日本に許さるべき産業水準をきめてもうといふことに對して、政府はどういうふうな手を今まで打つておられたのでありますようか。お差支えない程度に、わたくしにお話を願いたいと思うのであります。

さまりまするるよの音源は、度使用を許してもらることを懇請いたして努力はいたしております。お話を點はまつたくわれ／＼としても懨んでおるし同感であります。

○倉石委員 ただいま長官のお話によりますと、終連とか商工省とかいうようなお話であります。なるほど賠償し日本の政府として大きな力で、やはり向うにあたる必要があるのじやないかと思うのであります。なるほど政治的問題などは、いろ／＼國際的な政治的考慮が加えらるべきものであります。うから、困難な問題はあるであります。しかしながらわれ／＼は、この日本に對して許すべき産業水準といふものの枠がきまらない以上は、企業整備などといふことも、あるいはここで問題になつております失業保険の問題なども、ほとんどこれは枝葉末節の問題であります。この産業水準を早く引きめどもらつて、そうして極端に言えば、われ／＼が連國中のある一國を協力して、その經濟プロックの一環として、われ／＼が生きていかなければならぬということは、もうすでに運命づけられておるのでありますから、その國の經濟と日本の經濟とがどういふ程度のコネクションをもつて、いくか示していただきことが、日本を早く復興させることであり、またわれ／＼が援助してくれる國にとつても、それが早く利益になることだと私は思うの

かしておかれること、かかるにこれをほつたら
産業が行詰つておる一番大きな病であ
りますから、私はただいま和田長官の
言われた程度のことしか、政府がやつ
ておいでにならぬとしたならば、もう
少し強力に——日本のあり方はわかつ
ておるのでありますから、速かに日本
に對して、この産業水準を決定しても
らうということの努力を政府に要望い
たしたいのであります。そらしてこの
日本産業の水準が、たとえば一時新聞
に傳えられたように、昭和五年ないし
十一年くらいの程度であるとか何とかと
いわれておりますけれども、そういう
ような産業水準というものをきめられ
て、そこで出てきたところの産業再編
成計畫によつて、はじめて日本にはど
れだけの生活必需物資が使われるかと
いうことがわかつてくるのであります
から、それを前提にして、そらして耐
乏生活なら耐乏生活を要望し、そらし
てその耐乏生活の結果、いわゆる飢餓
輸出でもして外貨を獲得するといふふ
うなことを國民に要求されて、はじめ
てそれは意味があるのであります
日本の産業水準がどの程度になるかと
いうことの考え方があらぬいで、國
民生活をどの程度にしなければならない
いがといふことがはつきりしないの
に、いたずらに耐乏生活を唱えられる
ということは、せつから總理大臣が當
に國民に教えるるところであります
けれども、これは私は無意味だと思
う。どうかひとつこの産業水準の決定
ということに對して、ぜひ政府當局の
御奮闘をお願いしたいのであります。
○和田國務大臣　ちよつと私の説明を
足りませんので誤解があつたと思ふの

東委員會の案とか、ちゃんときまつたものがあるわけであります。それがいつどれだけのものが取り去られるかといふことについて、はつきりはいたしてない。それから日本に許された生活水準というものについては、結局昭和五年、九年という一應の水準がきめられておる。われくとしては、そこの水準まで到達するのにさえ、今の日本の國力をもつてしては非常な努力をしなければいけないというのが見透しであります。その點はつきりいたしておるのであります。われくとして今經濟安定本部で長期計畫を組んでおりますのには、そういう水準に到達するのに一體どういう要素を考え、どういう方法によればやれるかということを、最近の回轉資金輸入資金を一應の中心として考案をいたしておるのであります。許された生活水準については、これはもうすでに決定されておると思うのであります。それに到達するのにも、今のよほな日本の經濟が破壊されてしまつておる中では、なかなか努力を要し、相當の蓄積がなければできないかないのであります。その點についてはわれくは、ただむやみやたらに耐乏生活を要求しておるのではなくないのであります。最近許されました五億ドルの回轉資金というものを、これを一應の中心とし、それを出発點として、それが同時に長期の計畫に結びつくというような構想でいるくど策案をいたしておるのであります。さういふに御了承を願います。

84 | P a g e

も明確に、この程度にすべしということがありますか。

○和田國務大臣 賠償の問題については、私が申し上げましたのは、ボーレー案であるとか、極東委員會の案でありますから、それを無視するわけにはいかぬ。それが一層、われくとしていろいろのものを考える前提になります。

○和田國務大臣 賠償の問題については、そういうものが開きまつておるのありますから、それを無視するわけにはいかぬ。

○和田國務大臣 たゞ、それが一層、われくとしていろいろのものを考える前段になります。

のですが……。

○辻井委員長代理 速記を止めて……。

〔速記中止〕

○辻井委員長代理 速記を止めて……。

○和田國務大臣 いろ／＼やつておる

わざでありますから、ただいまのところ

電力を新しく大きく開発していくとい

うことについては、そういうような状

態にあるのであります。

○倉石委員 先ほど来片山總理大臣の

お話を承りましても私は同感であります

して、いわゆる産業の合理化、企業整

備というようなものは、一日早ければ

それで、いわゆる産業の合理化、企業整

備というようなものは、一日早ければ

それで、いわゆる産業の合理化、企業整

備というようなものは、一日早ければ

それで、いわゆる産業の合理化、企業整

備というようなものは、一日早ければ必要があるということを申し上げたい

○和田國務大臣 お話を今日本の雇用者を承りましても私は同感であります

して、いわゆる産業の合理化、企業整備というようなものは、一日早ければ必要があるということを申し上げたい

たような全般的な、遊んでいる者をな

くするというような方法について、先

ほどの話のあつた電源開発もその一つ

の問題も、ただちにそれが企業

組織といふようなことは、具體化して

おらないというふうにしかわれくに

は考えられないでありますから、今は

こうすることを率先しておやりになら

なければならぬ緊急の時期であります

政府は速やかに、この非經濟的の

問題について、ただいまのところ

電力を新しく大きく開発していくとい

うことについては、そういうような状

態にあるのであります。

○和田國務大臣 お話を今日本の雇用者を承りましても私は同感であります

して、いわゆる産業の合理化、企業整備とい

う

化といふ問題も、ただちにそれが企業

組織といふような形でなくして、配

置轉換であるとかいろいろな點におい

てやはり行はれ得る、またそういう方

向への努力をいたしていかない、新し

い雇用の機會も與えていく、こう考え

ておるのであります。そういう立場が

わかれ／＼としては、日本の雇用構造

についての大體の茶といふものを一應

は考えてみておるのであります。二十

三年から五年後の昭和二十七年とい

うものを一應の目安にいたしまして、そ

うしてそこで一應最低の安定構造に雇

用の構造の點であります。これは非

常な根本的な問題だらうと思うのであ

ります。私たちもお話をようやく、ただ

備の構造の點であります。これは非常な問題だらうと思つておられるのであります。それが、いかがでありますよ。

○和田國務大臣 お話を今日本の雇用者を承りましても私は同感であります

して、いわゆる産業の合理化、企業整備とい

う問題を取扱つておるのではありません

失業保険をするとか、失業手當をする

とか、そういう面だけでもつて、こういう雇

用の問題を取扱つておるのではありません

と太刀打ちをするというような場合

に、先ほど例を申し上げましたが、米

國務大臣の御説明にあつたように、外國製品と太刀打ちをするということ

は、やはり國民の所得、それから國民の生産物の生産量といったような全體

の問題を取扱つておるのではありません

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

ついて政府は具體策をもつておられる

かどうが、伺いたい。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

たよる全般的な、遊んでいる者をな

くするというような方法について、先

ほどの話のあつた電源開発もその一つ

の問題も、ただちにそれが企業

組織といふような形でなくして、配

置轉換であるとかいろいろな點におい

てやはり行はれ得る、またそういう方

向への努力をいたしていかない、新し

い雇用の機會も與えていく、こう考え

ておるのであります。そういう立場が

わかれ／＼としては、日本の雇用構造

についての大體の茶といふものを一應

は考えてみておるのであります。二十

三年から五年後の昭和二十七年とい

うものを一應の目安にいたしまして、そ

うしてそこで一應最低の安定構造に雇

用の構造の點であります。これは非常な

問題を取扱つておるのではありません

と太刀打ちをするというような場合

に、先ほど例を申し上げましたが、米

國務大臣の御説明にあつたように、外國製品と太刀打ちをするということ

は、やはり國民の所得、それから國民の生産物の生産量といったような全體

の問題を取扱つておるのではありません

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

たよる全般的な、遊んでいる者をな

くするというような方法について、先

ほどの話のあつた電源開発もその一つ

の問題も、ただちにそれが企業

組織といふような形でなくして、配

置轉換であるとかいろいろな點におい

てやはり行はれ得る、またそういう方

向への努力をいたしていかない、新し

い雇用の機會も與えていく、こう考え

ておるのであります。そういう立場が

わかれ／＼としては、日本の雇用構造

についての大體の茶といふものを一應

は考えてみておるのであります。二十

三年から五年後の昭和二十七年とい

うものを一應の目安にいたしまして、そ

うしてそこで一應最低の安定構造に雇

用の構造の點であります。これは非常な

問題を取扱つておるのではありません

と太刀打ちをするというような場合

に、先ほど例を申し上げましたが、米

國務大臣の御説明にあつたように、外國製品と太刀打ちをするということ

は、やはり國民の所得、それから國民の生産物の生産量といったような全體

の問題を取扱つておるのではありません

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

たよる全般的な、遊んでいる者をな

くするというような方法について、先

ほどの話のあつた電源開発もその一つ

の問題も、ただちにそれが企業

組織といふような形でなくして、配

置轉換であるとかいろいろな點におい

てやはり行はれ得る、またそういう方

向への努力をいたしていかない、新し

い雇用の機會も與えていく、こう考え

ておるのであります。そういう立場が

わかれ／＼としては、日本の雇用構造

についての大體の茶といふものを一應

は考えてみておるのであります。二十

三年から五年後の昭和二十七年とい

うものを一應の目安にいたしまして、そ

うしてそこで一應最低の安定構造に雇

用の構造の點であります。これは非常な

問題を取扱つておるのではありません

と太刀打ちをするというような場合

に、先ほど例を申し上げましたが、米

國務大臣の御説明にあつたように、外國製品と太刀打ちをするということ

は、やはり國民の所得、それから國民の生産物の生産量といったような全體

の問題を取扱つておるのではありません

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

たよる全般的な、遊んでいる者をな

くするというような方法について、先

ほどの話のあつた電源開発もその一つ

の問題も、ただちにそれが企業

組織といふような形でなくして、配

置轉換であるとかいろいろな點におい

てやはり行はれ得る、またそういう方

向への努力をいたしていかない、新し

い雇用の機會も與えていく、こう考え

ておるのであります。そういう立場が

わかれ／＼としては、日本の雇用構造

についての大體の茶といふものを一應

は考えてみておるのであります。二十

三年から五年後の昭和二十七年とい

うものを一應の目安にいたしまして、そ

うしてそこで一應最低の安定構造に雇

用の構造の點であります。これは非常な

問題を取扱つておるのではありません

と太刀打ちをするというような場合

に、先ほど例を申し上げましたが、米

國務大臣の御説明にあつたように、外國製品と太刀打ちをするということ

は、やはり國民の所得、それから國民の生産物の生産量といったような全體

の問題を取扱つておるのではありません

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

が、これは經濟緊急對策の中にも述べ

つかかうと思つております。

○和田國務大臣 お話を點であります

たよる全般的な、遊んでいる者をな

くするというような方法について、先

ほどの話の

はなはだ失禮な言葉かもしません

組合運動をしておる者、あるいは組合の運営をされておる労働者が、企業あるいは組合の運営の點について學ぶべき、研究すべしと認められる。その點については私は今日が減つており、乏しきにたえておる労働者に対する援助も、なつかつ生産關係を進してもらいたい、ということであつて、私は今日は各企業ごとに經營會議を開くことか、あるいは經濟復興會議をもう少し利用するとか、あるいは講習會等をして労働者に企業の實情を知らせるか、あるいは労働者に労働の統計調査といふようなことに對しての協力を要めるとか、こういつた方法によつて労働者に企業の實體を把握させるようより、政府はしたないと考えております。

○倉石委員　米窯國務大臣にお尋ねいたしたいのですが、米窯さん昭和二十一年の十二月一日の「實業日本」という雑誌に、完全雇傭の問題について書いておられるのであります。が、その中で、完全雇傭の問題をのニー・デイール・ボリシイにて、國家の基本的政策として取上げられている。すなわちアメリカの豊富な企業資源と労働人口を所持するから、その全的活用は從來の資本主義機構のもとでは發揮することできなくて、云々といふことを書かれます。それからつとしまいの如き、「要素が黨の主張する高度の社會主義計畫經濟を、この失業問題解決策の問題があつたのであります。それがどうぞ」ということあります。それは日川崎君の御質問の中に、社會主義は今日こういうような重大な時局

二、デールのあのボリシーにおいて、あいつた理想をもつておられた
人たる失業者が平時常についたというこ
とを私は述べて、そうしてこのフル・
エンド・プロメントということは、廣い
意味において國としてする場合と、狹
い範囲内においては、どうしてそれは
において、それ／＼相違が起つてくる
のでござりますが、少くとも企業の狹
い範囲内においては、どうしてそれは
ノーマルな状態でもむづかしい。いわ
んや敗戦日本の今日の現状において、
金融が非常に梗塞され、資源が非常に
涸渉しておる今日においては、なおさ
ら困難である。そこで廣い意味において
國がなす場合には勞務の配置調換、
職業補導、あるいは就職の機會を廣め
る、こういつたことを國が全力を注い
でも、なおかつ日本の今日の現状は困
難であるということを一應指摘して、
しかしこれをフル・エンド・プロメントに
近づける方策としては、當時私は在野
當時でござりますが、社會黨が平素言
つておるところの高賃金高能率、ある
いは労働時間の短縮、そういうことを
やつて、それによつて失業者を職場へ
吸収し得る餘裕がある。あるいは交代
制を頻繁にしてフルに働かせる、こう
いうこともあり得る。但しそれはもち
ろん資材の點、あるいは施設の點等も
關係あるが、私の述べた當時の日本の
經濟状態であれば、なおかつそれは行
い得る餘地があつたと私は考えてあの
一文を書いた。しかし、その後において
前内閣の施設において、そういうこと
とをやり得ずして、資源はます／＼涸
渉して經濟の諸條件が窮屈になつてき
た今日においては、殊にこの内閣は計

会黨の内閣ではない、通立内閣である。社会黨は御承知の通り、組閣當時において政策の制約のある今日においては、ございまして、社会黨の在野當時の政策をこの内閣の政策として行うことには相當の制約のあることは困難な事情であります。私は經濟の面からいつても、物の面からいつても、政策の面からいつても、私の在野當時に書いたことを直ちに内閣の政策として行うことは困難な事情にあるということを私はお答えいたします。

○辻井委員長代理 倉石君に御相談したいのですが、實は總理に對しての御質問でありましたので、順序を變更してお許ししていただけですが、前から通告されております人がまだ二、三名ありますので、一應總理に對する御質問が済みましたら、ひとつ後へ御質問を譲つていただき、労働大臣に對しては後ほどまたお願ひしたいと思います。

○倉石委員 よろしくござります。

○辻井委員長代理 それでは小川半次君に質問を許します。

○小川委員 私は労働大臣に對する質問は次回に譲りまして、本日は片山總理にお尋ねしてみたいと存じます。先ほど倉石委員の御質問に政府の御答應がありましたから、私にはあの御答應で納得がまいませんので、多少ダブルの答應をされると存じます。

○政府でもすでに豫知されておられるかと思いますが、この十月下旬ころから電車、空遞を初め、全官公廳労働組合が中心となつて、一大労働攻勢があると思いますが、お尋ねしたいと存じます。

の發表いたしました千八百圓のベースでは、どうてい現在の生活を支えていきことができないという深刻なる経済問題から出發しているのであります。その根據として安本の示すところによりますれば、十一月からは主食の運配、缺配が解消されるので、これによるや物費において八月には配給に對するやみの割合が一・九九倍に達してしまつたのが、九月には一・六三倍、十月には一・五七倍となり、十一月には一畢に〇・八三倍に減少して、すなわち八月には二千二百圓三十一錢だった飲食物費が、十一月には千五百十七圓八十一錢となり、勤労收入二千九百二十圓に對し、家計費額二千五百二十一圓で、差引三百九十九圓の黒字が出るというのであります。右の計算の基礎となつてゐる八月の家計費を安本は三千三十三圓十錢としているのであります。が、東京都労働基準局の實態調査によりますれば、六月時より既に夫婦と子供二人で労務者の家庭では三千百八十八圓、職員の家庭では三千六百十一圓八十七錢に達しているのであります。これを八月の物價に直しますと、労務者の家庭において約三千七百五十五圓、職員の家庭においては四千三百三十二圓となるのであります。すなばち出發點において早くも労務者において七百十七圓から、職員において千二百九十七圓といふ莫大なる開きが出てゐるのであります。これは一體政府の數字が杜撰であるのか、あるいは労働者の生活

が賛澤なりといふのであるが、おそれ
く政府は今日國民に耐乏生活を求めて
いる建前から、賛澤なりと言いたいと
ころであろうと思うのであります。が、
しかし東京都の統計に現われたところ
によりますれば、労務者の家庭では家
計を補うため一ヶ月に二百十五圓十七
錢の物品費支却と、百十九圓八十五錢の
貯金引出しがあり、また職員の家庭で
は三百十六圓十六錢の物品費支却と二百
七圓七十二錢の貯金引出しが現われて
いるのであります。このなま／＼しい
事實は、賛澤というにはあまりにも過
剰であるのであります。政府の發表によ
りした千八百圓のベースでは、どうぞ
生活のできないことは現實の問題とし
て明かなところであります。

は、西目問題にとらわれることなく、この千八百圓のベースを擧ぎよく徹回して、新たなるベースをつくることが責任ある處置といわなければならぬのであります。

それで結論として、どの程度のベースが基準であり、妥當であるかと申しますと、分析した細かい内容は省くことといたしますが、大體一千三百圓が現在の物價水準に並行する最も妥當な基點ではなかろうかと思うであります。しかしながら、あるいは千八百圓のベースであつても、今後やみ物價の下落が必然的であるという見透しあれば、労働者は一應納得ができると思うのであります。政府はあくまでも千八百圓のベースを固執されるのであるが、もし固執されるのでありますれば、労働者の安心、納得のいくようになります。今後物價は必ず下落するのであるといふ具體的のものを示していただきたいと思うのであります。

○片山國務大臣　ただいま小川君から、いろいろ数字に基いて詳細なる、かつ熟練なる御研究の結果を御発表になりましたが、こういふ問題はなかなかむずかしい問題であつまつて、各方面的研究を総合して、その結論を得なければならぬ問題ではなかろうかと想うのであります。小川君の御研究のも、十分考慮さるべき根據のある發表であるということをお考え願いたい。また他の學者や政治家によつて研究されておること等を総合いたしまして、すなわち諸般の情勢を総合して妥當なる結果を見出したいと私どもは考え

りまして、將來は黒字が出て物價は下つてくる、こういう見透しをつけておられますのは、ほんとうに國民がやみをしないで、ほんとうの意味において消費を節約して、融通生活に徹するという、やや理想に近い形が遂行せられるならば、おそらくやみはその根を絶ち、かつまた物價も下つて國民の生活はだん／＼よくなつて、產業も發展していくだろう、こういう見透しをつけた結果だろうと思うのであります。そういう意味から申しまして、立て方によりましてはその見方が違つてまいりますし、またいろいろの発表される形態というか、研究の對象、狙いどころなどにおいて、それ／＼の差異があるのではなかろうかと思うのであります。包括的に申しまして、政府としては七月五日に發表いたしました物價體系と睨み合せて、貯金は千八百圓べ一スで一應定めていかなければならぬ。それは先ほど申しましたようなり合いになつておる。これがわが國の當時における經濟狀態の跛行的な状態である。千八百圓をあげていくしならば物價體系もまた崩して別な物價體系を立ていかなければならない。形は山形になつて、物價と貯金との關係は並行にならずに、こういう状態になつておる。この結果は、わが國の經濟の跛行狀態と病狀の深刻さがそこにバランスされておる。これを是正して初めます。國民全體が協力して、その跛行狀態を是正し、その病狀を直していかなければならぬ、順調に進めよきを結論に達する。こういうようなこと

あるうと思ひまするが、なかへことは思ひ通りにもしかず、やみは根絶してその形は一つもなくなる。こういうことも望むところであります。そう實現化しない。そういう悩みがやはりつきまとつてくるものであります。そういうような現實の悩みと申しまするか、實際生活の工夫、あるいは實際經濟の運行の複雜性といふようなことに考えまして、安本で説表いたしております十一月になれば黒字といふことは、あるいはむづかしいような状態になるかもしれないと思つておるのであります。しかしそれだからといって、そういうような物價と賃金の悪循環を絶ち切る國民的な努力をしておりません。それは努力しません。これはやめてしまつて、やり放題にしてしまえというようなことは、國家再建途上においてるべき政策ではないと思うのであります。われくへは努力して、國民全體の努力によつてその體系を十分に守つていかなければならぬ。こういう意味において千八百圓のベースはあくまでも守ることによつて、物資體系を崩さないよろな方針で、やがては物價の値下りを期待し、國民生活の向上に貢獻するであろう。こういふ努力と懸念が望ましいことであると想ひであります。今われわれ日本國民に課せられております至上命令ともいふべきことは、この荒廢に歸しております經濟を再建するということであります。物價と賃金の惡循環を絶ち切つていくことであります。これが私どもの考えておりますところの節約生活であつて、何も節約生活は食べる物も食べないでやめる、多

になつてもひとえ物を著て辛棒しるといふような、無理を強いるのでは決してないのであります。消費を節約して、最低の生活で乘切つていく努力を、お互に拂つていこうではないか、そらして順調なルートにこれを乗せていくべく、國民全體的努力としてやつていこうとする耐乏生活の國民運動化を、私どもは要望いたしてゐる次第であります。何分にも八千萬國民全體の運動でありますから、理想通りにはいきませんが、どうかその點は諸君の懇意と御努力によつて、國民的全體の運動として推進されることを要望いたしておるような次第であります。理想と現実は、悩みがこういうところにも現われてくるのはなからうかといふことを考えておる次第であります。

の大水害によつて、おそらく二割ないし、はなはだしい場合は三割の物價値上りとなるということを知らなければならぬのであります。かつて、いつの時代であつたか忘れましたが、美濃の大震災があつたときには、近畿關西一帶が二割ないし三割の物價の上りがして、あの地方の農民たちが大恐慌を來したことによって、この美濃地方の大震災によつて數千戸の家屋が倒壊されたことによって、戸の家が倒壊されたのであります。この美濃地方の大震災によつて數千戸の家屋が倒壊されたことによって、近畿關西一帶が二割ないし三割の物價の上りといふことは、必然的であるというふうなことがあるのであります。關東の大水害によつて、おそらく物價の上りといふことは、必然的であるといふことは、必ずしもわれくは考えなければならない。私はおそらく政府では、豫期せざるといふところの災害によつて、やむを得ざる、状態であるということを御理解されて、それによつてこの千八百圓のベースを撤回することが、政府の面目も解決することであり、また最も得策であると思うのであります。この點について承りたいと思います。

であります。現に農林大臣が、どの委員會でありますとか、發表されました通り、食糧事情もそう大して心配はない、影響を受ける附近の消費大都市には、遍配なくして供給し得るというような發表をされておりますし、また各地からの同情なり、いろ／＼の手厚い救濟方法が及んでおる今日でありますから、その點は心配は少いと思つておるのであります。また政府におきまして、この水害に對する緊急対策を果敢敏速に立てようということによりまして、まず小川君の御心配は防ぎ得ると考えておりますので、それを根據としての千八百圓ベースの變更是今日考えておらないわけであります。

撤回して新しいベースをつくることが、この労働攻勢を防止し、圓満に國家再建の途を切り開いていくことがであります。までもこれを固執すれば、必ずここに労働攻勢によるところ大混亂が生ずるのではないかと思うのであります。この見透しにつきまして、總理からお答え願いたいと思います。

○片山國務大臣 いろいろの見方がありますが、われくは物價を、できるだけ國民的全體の努力によつて、下げべく奮闘しなければならないと思ふのであります。そういう方向に政策も向け、國民も打つて一丸となつて努力をする。こういうことが、ゆるませてはならない今日の心構えであると思ひます。それと關連いたしまして、もし此のベースを變更して上げますならば、必ず物價は上つてくる。これはその方向を辿ることは明らかであります。そういうことが一画において見えておりますのでありますから、どうしてもこれは守つて經濟安定の方向に向わしめる努力をすることが、國民に要望せられておる必要な事項であり、政府また懸命の努力を拂つてやらなくてはならない事柄であると思うのであります。今御指摘のような、いわゆる労働攻勢と稱せられる要求がそれぐ現われておりますが、政府はこれらの諸君に向まいして、實情をほんとうに打明けてお話をし、労働大衆諸君の心からなる理解を得るべく目下交渉であります。そして故意にこれを回避するといふようなやり方をとらずに、赤裸々な心持ちをもつて十分話に應じて進めていきたいと思います。

なお、いわゆるでこぼこであります。とか、千八百回の出る前の不足を補う方法については、できるだけの方法を講じて、労働大衆諸君の生活の充實には努力をいたしたいと思つて勞働大臣、安本長官、あるいは官房長官等の、労働問題に關係のある閣僚が主となつて懇談會を開きまして、その案を練つて、これに對する對策を立てつゝあるよう次第で、その方向に向つては、全力を傾倒いたしまして經濟安定のために戦つつもりであります。どうかこの努力と、この縣命なる奮闘に對しましては、十分の御理解を賜わりたいと存する次第であります。

[86]

たす點がありますので、お伺いをいた
したいと思うのですが、申すまでもなく
が國の政治といえば、申すまでもなく
經濟に重點がおかれております。經濟
即政治と申しましても過言ではないと
思います。その經濟もわが國の再建と
國民生活の安定という線に注がれてお
ると思うのであります。今國民が、
殊に勵む労大衆、戰災者、あるいは
引揚者、大多數の國民は今日の衣食住
に不足して、いかにしてこの苦難を切
り抜けようかということに日夜苦慮い
たしておることは御承知のはずである
と思うのであります。私どもは、どう
してもこの國民生活を安定の域にまで
救い出すとともに、敗戦という不面目
な失敗を償つて、祖國日本を再建し
なければならぬという熱意をもつてお
るものであります。ともかく今日の國
民生活の安定には、何をおいても物を
充足する、物をつくるということに重點
がかけられなければならないのであり
まして、できき物をどう配給するか、消費
せしめるかということは第二の問題で
あります。かかるときに、物をより多
くつくり、いい品物をつくることによっ
てにおきまして、今日の日本の國の經
濟政策、指導方針、すなわち統制經濟
は大きな缺陷をもつておるのでない
か、かように私は思うのであります。
殊に間もなく開かれんとする自由貿易
の時代になりますれば、わが國は好む
と好まざるにかかるらず、世界の競爭
經濟市場に乗り出さなければなりません
。そのときにいい品物を安く賣り、
しかも多量につくるという努力がなか
つたならば、必ず落伍者となつて外貨
の獲得は思いもよらないことだ。すな
わちこの小さな島國に、またぞろ孤立

しなければならぬのではないか。かゝるに私は心配いたします。その観點に立つて考えますときには、國內の經濟状態を努めて競争經濟にもつてはいけないのではないかと思ひます。今日國家公務員法が上程になります。その説明を伺つておりますから、能率向上をはかるために競争制にならなければならぬといふ御趣旨には賛成であります。殊に經濟面において、なぜ一日も早く競争制にもつていかないのであるか。このことを私ども非常に遺憾に思つてあります。戦時中から今日までの日本の統制經濟の跡をたどつて見ますれば、ことごとくが實際わけのわからぬ素人で、月給さえもらえばいい、日が経てばよいという官僚のその日暮しの無責任なる經濟のやり方でもありますて、俗に餅は餅屋と申しますが、やはり産業のことは産業界人にもやらさなければならぬ、ほんとうの苦勞を知らない人にやれるものでないということは申すまでもないことであります。かつて戦時中に岸統制で私どもは大きな憤慨をもちました。せつからく見てた事業すらも私どもは中小工業、企業整備のために大事業に合同せよといふ商工省の命令に憤慨をもつて、支那の華中水産に賣拂つたことがあります。戦時中國策に協力しなかつたかといえ、決してそうではないのであります。官僚統制の無知識、權力をもつて國民を屈服させんとするこの方針に、私どもは大きな憤激を感じ抵抗の抵抗をいたしましたのであります。今日日本の人々は、この官僚の統制には大きなか満をもつてゐると思うのであります。

その一例として、政府が欠陥車の値上げをいたしました。生産者價格が從来の倍になつて、生産者は喜ぶかと思います、反対に消費者價格が非常に高くなりましたがために、かえつて生産者の不満を買つて、依然として薪炭はやみならず買ふるが、マルク公では買えないという現状であります。マルク公を引き上げれば、ついやみ値がさらによつていくというものが日本の現状で、先ほど首相も、わが國の經濟の病根は賃金を上げれば物價が上る、物價が上れば賃金が上るという悪循環にありと指摘されました。それより一理がありましようけれども、さらに重大な原因は物の不足であります。物さえ増産すれば物價は安くなり、賃金は上げずとも済むのである。この根本の方針、原理は簡単でありますが、首相並びに經濟安定本部あたりで、その通りだ、實行しようといふ熱意がどこまであるかということを疑わしく思うのであります。今日業人の何もわからぬ者に事業にタツチする権限をもたしますことは、あだかも狂人に刃物をもたすようなものだ、先般私は京都方面の食糧對策實地調査にまいりまして、みそ、醤油製造の大きな工場を視察しましたとき、その會社の關係者が曰く、今度私どもの方も公團がてきて、また役人の支配を受けなければなりません、實に殘念ですと申しておりました。その工場の、先祖代々粒々辛苦してつくられたところの機械設備を見ましたとき、私は私個人ならばも壞したく思いました。とにかくそれほど業界は、いわゆる「一生の運命と全財産を投じて、その事業に血の出るような精魂を打ち込んだ」ものが現状であります。それをた

うまさに支配せんとするところに間違
いの種があるのでありますて、要は重要な
ものはできるだけ統制の枠をはずして
産業はやむを得ませんから、これは統
制いたすといたしましても、その他の
ものはできるだけ統制の枠をはずして
自由経済に、競争経済にもつていつ
て、物を増産するといふ政策を行われ
るのが適當なのでじやないかと考えま
す。この意味から新炭類のこときも、あ
るいは生鮮食料品のこときも、かよう
なものは速かに統制を撤廃されるのが
よいのじやないか。先般も食料關係で、
京都に調査に行きましたが、魚の配給さ
れています。實際行つてみてどれだけ
ありまするが、政府は食糧緊急對策
によりまして、一人あたり十一匁づつ
の魚を配給されるということを發表さ
れております。實際行つてみてどうだ
け配給になつておるかと言いまする
と、七月、八月の二箇月に、六十日
の間に二百五十グラムでありますか
ら、七十匁であります。六日分より配
給はないのであります。との五十四
日といふものは魚を食わないか、ある
いはやみで食うかしなければならな
い。しかしやみならば魚のありますこ
とは、御承知の通りであります。すな
わち今日國民は、一面はマル公です
が、大部分はやみの生活をいたしてお
るのであります。先ほども首相は、や
みの撲滅、マル公生活について國民の
道義に訴えられ、非常に御結構な御方
針のように思われますが、現状をもつ
て推移いたしますれば、おそらく十年
かかつても、このやみはなくなるまし
と私は思うのであります。やみをなくす
する途はただ一つ、物を増産さえすれば
それでよい。物によつてはいろく
資源の關係や施設の關係で増産できら

きるものは統制の枠をはずして自由經濟にすればよい。すなわち魚のこときも生産縣におきまして、陸上で取締りを強化すれば海の上でやみをやる。海上に警戒船を出して取締りを強化すれば、今度は漁業者が海に出ない。漁業者が耐え生活を始めるのであります。これが現實であります。すなわち政治は多數國民の納得のいくようにならぬ時期に立つて、國家興亡のこの非常時において、なおかのような適切な政策を——これまでの政黨のイデオロギー、さようなものは捨て、政黨政派を超えて、祖國をいかにして再建し、國民生活をいかにして安定するか、ということこそ、今日の重大なる必要なるところべき手段ではないか、かようになります。私は考えますので、首相の御所見を伺いたい。

す。殊に消費方面から考えてみますと、物は足りないが要求する方面が非常に多い。これもそのままに任しておきまするならば、力のある者がその物を獨占してしまう。金のある者、暇のある者は、それがあかしてこれを獨占して、力のない者、金のないもの、一機会を得ない者は、それを得る機會を全然失つてしまらうといふようなことになるのは、理論的示すところであると思ふのであります。従つて國民生活必需品でありまする食料品につきましては、これを計畫いたしまして漏れなく全體の人々に行渡らせて、生活の不安を起さないようには接配していかなければならぬ。こういうふうに考えるのが悪かつたと思うのであります。そこで配給制度あるいは統制制度といふものが生れてくると思ふのであります。今までではそのやり方であります。そこに配給制度あるいは統制制度といふものが生れてくると思ふのが悪いために、いわゆる官僚統制であるとか、権力統制であるとかいうような困難があつたと思ひます。政府の方が悪いために、いわゆる官僚統制であるとか、権力統制であるとかいうふうな問題を政治の實際に現わすのはこのときである。この會機をおいてほかにないといふほど熱心に、この統制問題を民主的に考えておる次第であります。第一に國家觀念でありまするが、私の考えでは、國家は國民の福利増進をなかる主體である、國民の幸福を指導しなければならない主體である。かように考へるのであります。権力主體ではなくして、権力を縦横に振りまわして、官吏階級といふものを形づくつて統制を振りまわした時代はすでに去つて、ほんとうに國家は國民の福祉をはかる主體にならなければなりません。殊に消費方面から考えてみますと、物は足りないが要求する方面が非常に多い。これもそのままに任しておきまするならば、力のある者がその物を獨占してしまう。金のある者、暇のある者は、それがあかしてこれを獨占して、力のない者、金のないもの、一機会を得ない者は、それを得る機會を全然失つてしまらうといふようなことになるのは、理論的示すところであると思ふのであります。従つて國民生活必需品でありまする食料品につきましては、これを計畫いたしまして漏れなく全體の人々に行渡らせて、生活の不安を起さないようには接配していかなければならぬ。安寧秩序の維持から公安を守つていくというふうなことも、國民全體の運動としてやつていかなければならぬ。安寧秩序の維持から公安を守つしていくおいて、そうしてこれを第三者的、傍観的態度で批判するといふような態度ではなくして、國民みずからが政治を擔當するのであるという今日の民主的原則から割出しまするならば、國民自身が政治をする、こういうことになりますから、乏しき物資を――生産されたる物も乏しいが、またこれから生産される物も乏しい今日の特殊状態から鑑みまして、國民全體に行渡るように、國民みずからが、これを公平に配分していかなければならぬと思ふのであります。その意味におきまして、計畫を立てて生活を安定せしむる方策を立てなければならぬのであります。位の高い者とか、富める者とかいう者に、これを獨占させておいたりする一つの統制は、松本君もお認めになつております。これが生活必需品であるからではいけないのであります。その意味におきまして、計畫を立てて生活を安定せしむる方策を立てなければならぬのであります。位の高い者とか、富める者とも、また女も、子供も、力のない者とかいう者に、これを獨占させておいたりする一つの統制は、松本君もお認めになつております。これが生活必需品であるからではいけないのであります。その意味におきまして、計畫を立てて生活を安定せしむる方策を立てなければならぬのであります。位の高い者とか、富める者とも、ひとしく生活必需品には公平なる分配に與かるような方策をとらなければならぬことを考へておるのであります。從つて國家の命令を受け、その事務を擔當いたしまする官吏は、國民のために福社増進をこれ急として、奉仕的に動いていかなければならぬものであると思います。すなわち官吏は國民公僕の觀念に徹しなければならない。こうまする當然の結果であります。國民もまた新憲法の精神によりまして、全體として國家を幸福に仕上げていかなければならぬ。安寧秩序の維持から公安を守つていくというふうなことも、國民全體の運動としてやつていかなければならぬ。安寧秩序の維持から公安を守つしていくおいて、そうしてこれを第三者的、傍観的態度で批判するといふような態度ではなくして、國民みずからが政治を擔當するのであるという今日の民主的原則から割出しまするならば、國民自身が政治をする、こういうことになりますから、乏しき物資を――生産されたる物も乏しいが、またこれから生産される物も乏しい今日の特殊状態から鑑みまして、國民全體に行渡るように、國民みずからが、これを公平に配分していかなければならぬと思ふのであります。その意味におきまして、計畫を立てて生活を安定せしむる方策を立てなければならぬのであります。位の高い者とか、富める者とかいう者に、これを獨占させておいたりする一つの統制は、松本君もお認めになつております。これが生活必需品であるからではいけないのであります。その意味におきまして、計畫を立てて生活を安定せしむる方策を立てなければならぬのであります。位の高い者とか、富める者とも、ひとしく生活必需品には公平なる分配に與かるような方策をとらなければならぬことを考へておるのであります。

ばならないのが、私どもの考えておりまする統制であります。従つてこれは官僚的にやるべきでは決してありません。官吏がやるからといって、これを官僚統制と言ふわけにはいきません。國民の公僕たる官吏が、國家の命令によつて、國民が選んだ政府の命令によりまして動いて、國民福祉のために奉仕的に奮闘努力する場合においては、これは官僚的で動いておるのでは決してないのです。面目を一新し、方式を一新し、眞に民主的に動いていかなければならぬのが今後の政治のあり方でありますと、現政府はその方針に向つて經濟の實際面に當つて、こううと考えておるのでありますと、斷じて官僚的な、天降り的な、大威張り的統制をやるつもりは全然ありません。公平な福祉増進のための統制であるといふことをお考へ願いたいのであります。統制といふ言葉が、前の言葉と同じでありますから、とかく混同される憾みがありますが、これを計畫配給と申してもよろしいし、他の言葉を使つてもよろしいと思います。眞に國民に公正なる扱いをいたしたいということが、私どもの念願であります。

それから労働者の教育につきましては、政府といたしましても十分に力を入れております。多年問題となつてしまつておられまする労働省の發足を見るに至りましたのも、その一つの現われであります。労働省を設置し、米羅労働大臣を初めといつたしまして、今までの體験を通じまして、眞に労働者の自主的な生産協力を望んでおるのであります。労働者自身の力によつて、地位の向上によつて、一國の產業が發展するのであ

る。わが國の産業は労働者の肩に擔わられておるのである。労働者が奮起するにあらずんば日本産業の發展をいかんせん、こういう氣概をもつて一國の經濟を擔つていただきたいということを、私どもは念願いたしておるのであります。従つて労働組合運動も、ストライキをするための組合運動ではなくして、自主的に、労働者自身の力によつて修養し、訓練し、技術を練習し、そしして一國の産業の發展に大いに貢献してもらいたいという運動が労働組合運動である。これを健全に手引きをしていかなければならぬということが、労働者の大きな任務であります。

労働者の自主的な教育であつて、型に

はめて、そうしてなわをつけてひつば

のあります。それで、そうして一國の産業

と經濟が隆盛に向うように手引きをい

たしたい、こう考えておるのであります。

労働者教育のために、青少年教育

についてくるといふ方ではなくして、

ほんとうに労働者諸君の自主的な、精

神的な向上に對して、十分途を開ける

のであります。その意味におきまして

の労働者教育を願いたいと思つてお

る次第であります。また道義の廢棄、

正義觀念の失墜等につきましても、國

民運動として各所にあがつておること

を私どもは伺いまして、非常に心強く

思つております。こうして民主主義理

と私どもが申しておりますのは、今

までのようく政府が豫算を立てて、そ

うしてこの豫算をこれだけの計畫でお

使いなさいと言つて、人を集めとき

て、それが實會のやれ集會のやれ相

談會のといふように、型ばかりのこと

をやつて宣傳するような、いわゆる官

僚式な國民運動の方式をとりません。

そういう方式をとらないで、國民の間

に澎湃として上つてくる自主的な運動

答辭で恐れ入ります。私は乏しき物、

○松本(一)委員 たいへん御丁寧な御

お次第であります。

○辻井委員長代理 松本君、總理大臣

は四時までに、どうでもある場所へお

出でます。

○松本(一)委員 たいへん御丁寧な御

お次第であります。

○辻井委員長代理 松本君、總理大臣

は四時までに、どうでもある場所へお

すから、やむを得ざるやみ撲滅の對策であると御了承を願いたいと存じます。

○松本(一)委員 今の御答辯は私が質問しましたことは筋が違うであります。(「こうしたことじやないか」と念を押したら「そうだ」と言うから、總理大臣は答辯をしたんじやないか」と呼ぶ者あり)いや、そりぢやない。やみブローカーの取締りではない。窃盜とか、強盗とかいう、そういう犯罪をなくして、國民生活を安定して、安心して農村の働く者が生活ができるということにしなければだめです。これでなければ法規の改正をいま一度やり直す必要があると思います。おそらくこれはG・H・Q、あるいは連合國の方の意見も伺つておられると思いますが、政府の熱意が必要だと考へて質問をしたのですが、質問はこれで打切りります。御答辯も要りません。

○社井委員長代理 それでは質問を次會に繼續しまして、本日はこの程度で散會いたします。次會の委員會はあらためて公報をもつてお知らせいたします。

午後三時五十八分散會

昭和二十二年十一月十五日印刷

昭和二十二年十一月十六日施行

衆議院事務局

印刷者 印刷局